

(4) 当該年度の実施内容	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	消防団施設整備・維持管理事業	事務事業No.	30101000681	所属課	防災課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

消防ポンプ車の更新に伴い車庫建設の必要がある。（車庫に収まらない等）
町村合併により消防団施設の整備箇所が増加し、その財源も限定されているため整備が追いつかない状況であり費用対効果が出るよう計画的に進める必要がある。
平成23年3月の東日本大震災では、11箇所の車庫詰所が被災した。
老朽化した施設が増え、修繕コストが増える傾向にある。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

施設の維持管理費節減のため、分団統合等の意見があり、今後、分団の統合を検討する。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

消防団員に指導育成を強化し施設管理の徹底を図る。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	結びついている	消防施設が整備され維持管理が徹底されることは、消防体制の強化につながり政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
有効性	妥当である	車庫は、市が購入し管理する消防ポンプ車を保管する施設であるので公共の関与は妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	向上余地がない	施設の充実にはコストがかかる。整備する仕様も必要最低限であり、これ以上の成果の向上は難しい。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
効率性	影響有	消防ポンプ車の管理に影響し、消防力が低下する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	
	余地がない	類似事業がないため、統廃合・連携の余地がない
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	削減余地がある	分団が管理する施設については、日頃の管理を徹底し大切に使用することにより、管理費は削減できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	公正・公平である	市が設置する消防団の施設であり公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性	■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	老朽化した車庫を順次建て替える必要がある。特に消防ポンプ車を更新する際は、現在の車庫に入らない場合があるので注意する。消防団の統合により車庫建設を減らせるが、消防力の低下につながるおそれがあり対応は、注意しなければならない。 施設の老朽化により、修繕のコストが増大する。分団の維持管理を徹底させる。																					
②有効性	■ 適切 □ 見直し余地あり																							
③効率性	□ 適切 ■ 見直し余地あり																							
④公平性	■ 適切 □ 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																						
☐ 終了 ☐ 廃止 ☒ 継続 ☐ 休止 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 → ☐ 目的の再設定 ☐ 有効性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 効率性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 連携ができる		(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>✕</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>✕</td><td>✕</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	✕	低下		✕	✕
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	✕																				
	低下		✕	✕																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	⑧																					
		コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 A: 継続（現状維持） B: 継続（改革改善を行う） C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	確認欄